

ひまわり苑 便り

第113号
秋田

平成28年3月25日発行（年4回発行）発行人 管理者 小野 一也

〒010-0401 秋田県鹿市野石字大場沢下1-11 Tel. 0185 (47) 2311・Fax 0185 (47) 2220
Eメールアドレス: wakafuku@beach.ocn.ne.jp URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~wakafuku/>



新年度も俺に任せろ!





『障害者差別解消法』って何？

管理者 小野 一也

平成二十八年四月一日施行となるこの法律。正式には『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』である。障害があるがゆえに差別されることのない社会の実現を目指すことが最大の目的である。

ただ、厚生労働省の福祉事業者向けのガイドラインを見ると、合理的配慮として例示されている事柄は、日常の支援業務の中で行われていることであり、正直なところ今更ながらといった感もあった。

過日、障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラムに参加し、法律制定への経緯、福祉事業者の実践報告等を拝聴した。それこそ、差別の今を知ることができたと同時に、まだこんな世の中なんだと、いささか寂しさをも感じた。障害があるからと言って、例えば入店を断られたこともなく、それどころかわがまま過ぎるくらいの要望を聞き入れていただき、楽しい時間を過ごさせていただいている当方としては、別次元の出来事のようにも思えた。

いずれにしても、この法律は、障害の有無にかかわらず、当たり前のことだが人が人として生きていくことの大切さを改めて教えてくれているように思えてならない。

ひまわり フォトコンテスト

今年度撮影溜めた写真の中で好きな写真に投票して貰いました。グランプリは面会ツアーからの笑顔の一枚、準グランプリのサンタさんを大きく引き離しました。

グランプリ



5月の面会ツアーで帰りのバスから手を振るお母さんに見せてくれた満面の笑顔に。

14good!



クリスマス昼食会にプレゼントを持って現れたサンタさんに。

8good!



たくさんの料理に満足げな笑顔へ。

7good!



苑祭の輪投げでお菓子ゲット！ガッツポーズに。

5good!

ソフトボール大会で見事な空振りに。

5good!



苑祭の輪投げでお菓子取るぞ！気合の一投に。

3good!



イベント広場の菜の花と笑顔に。

5good!



面会ツアー、みず菜食べませんか〜青空と笑顔に。

5good!

観桜会、桜と菜の花のコントラストとイケメンに。

3good!



夏祭り。普段はあまり見せないその笑顔に。

2good!



常磐熱海温泉で良い笑顔ですね〜

2good!



ブドウ園で食べ放題！パンパンに膨らんだほっぺたに。

1good!

を振り返って

畑作班

二十七度から「大地班」から「畑作班」と名称が変わり男子十一名、女子七名、職員七名で気持ちを新たに一年間作業に取り組んできました。農場では四月に馬鈴薯播種、ネギの定植から始まりミズナ、カブ、キュウリ、ミニトマト、枝豆、トウモロコシ、スイカ、タマネギと栽培してきました。夏場は全員で灌水をしたり、除草をしたりと暑い中、体調を崩す事なく頑張ってきました。収穫時、馬鈴薯（赤芋）が殆ど実らず残念ながら収穫できない事もありましたが初物のジャガイモを蒸かしておいしく食べた事など栽培の大変さや収穫の楽しさを一番に味わえることが出来ました。また、収穫した作物は苑厨房に納入して食材の一部として利用者全員でおいしくいただいています。

今まで道具置き場として使ってきたハウスが老朽化し、解体して新しいハウスを建てることになりました。

◎ 班長 鈴木弘毅

十月には二年ぶりの一泊旅行で栃木県、福島県、山形県の各所を巡りハードな日程となりましたがゆつくり温泉に入り料理を堪能することができ楽しい思い出になったと思います。

今後も各自の体力に見合った作業を提供して収穫の喜びを味わってもらい、ケガがないよう全員楽しく一年間過ごしていきたいと思っています。



花卉班

今年度は楽しんで作業を行っている様に利用者への声掛けを多くしました。

野菜作りや花作りに汗を流し、みんなで頑張りました。作業の合間に収穫物であるトマトやキュウリ、スイカを農場で美味しく食べる事も利用者達の楽しみの一つであり、皆で美味しく頂いた事がとても印象に残っています。又今年初めて作った赤ダイコンは給食で漬物として提供してもらい、利用者からは凄く好評だったので来年度は作付面積をもう少し増やそうと思っています。

花作りでは恒例となるマリーゴールドやパンジー、ひまわり等を育て花壇に植えたり販売したり利用者と一緒に支援員も頑張ってきました。花も出来れば他の品種にも取り掛かってみてはと考えてはおりますが、なかなか難しい所もありますので今後の検討課題したいと思います。

何か良い花や作物があれば花

◎ 班長 大淵直人

卉班の支援員へお話ししていただければ幸いです。それから来年度は余裕があればイベント広場や芝生等へも手を入れて行きたいと思っています。面会ツアー等で保護者の皆さんが来苑した際は利用者と一緒に何か簡単な作業でも出来ればこれもまた良い思い出になるうかと思っています。

最後に来年度も利用者、支援員と協力し楽しんで作業出来るように頑張っていきたいと思っています。



27年度の活動

リハビリ班

◎ 班長 佐藤 慶彦

昨年五月に男子利用者が新たに加わり、男女合わせて二十四名の利用者の班編成で活動しています。

活動は運動機能の維持を目的に、天気の良い日はイベント広場で歩き、屋内での活動は色々な器具を使い、利用者個々に合った手指訓練に取り組んでいます。
また、苑周辺には桜や菜の花

がきれいに咲いている場所が多く、ドライブに出掛け気分転換を図っています。

障害の重い利用者は自分の体調や思いを人に伝えることが難しい為、日常の様子から少しの変化を見逃す事がないよう留意し、情緒の安定を図り、笑顔で過ごせるよう支援していききたいと思います。



認知機能班

◎ 班長 鈴木 幸喜

認知機能班は高齢者や身体・認知機能の低下がみられる利用者が構成されています。今年度は利用者十九名、支援員八名で活動しています。入浴は平日、毎日実施しています。車椅子の利用者には状況に応じて特殊入浴機械を活用しています。

活動内容としてはイベント広場を活用した散歩や日光浴、屋内では個々の趣向に応じた作品作りや手指先運動を行っています。またゲームなど、楽しみながら身体を動かす、短時間でも棟内歩行や踏み台昇降運動を取り入れ身体機能の維持を図っています。苑祭では利用者みんなで協力してホールへ飾る大きな貼り絵の壁面に取り組み、みんなで完成の喜び、達成感を味わっています。レクリエーションとしては観桜会、観劇、一泊旅行、日帰り旅行、買い物外出など利用者の体力面を考慮しながら実施しております。旅行は一泊と日帰りに分かれましたが、一泊旅行は新幹線で岩手県盛岡市に出掛けてきました。動物とのふれあい体験、宿では温泉入浴、宴会、カラオケ、

二日目は小岩井農場に行ってみて楽しんできました。日帰り旅行はマイクロバスで出掛け、秋田市でゆつくりと昼食を楽しみ、大森山動物園へ行ってきました。自分の好きな物やお土産を買って楽しんでいました。日頃の活動を離れ、ゆったりとした時間の中で社会との関わり、自然との関わりを楽しみ、気分転換を図っています。

利用者の身体機能の維持と認知機能の低下に適切に対処した健康で安全な苑生活を送ってもらう事を目標に個々の状態に即した支援をして行きたいと思っています。



今日は節分！早く春よやってこい！！鬼は外ー！！

節分

二月三日、暦のうえではまもなく春ですが、秋田県では雪も降ってまだまだ寒い。そんな中、ひまわり苑では毎年恒例、節分の豆まきが行われました。



年男、年女で豆まきをする
青木 弘行さん、嵩村 留美さん！



今回のウィンターレクの テーマは「縁日」

今年のウィンターレクでは、ひまわり苑食堂ホールがお祭り会場に大変身。輪投げに射的、あめのつかみ取りに千本びき。おかし等の景品を袋いっぱい獲得し、午後のティータイムでは、いつもより豪華なおやつをいただき、沢山の笑顔が見られました。



ウィンターレク

ひまわり苑 苦情解決相談員としての 一年をふりかえって

苦情解決相談員
小玉 亜紀子さん

相談員として来てから、早くも一年が経ちました。利用者さんたちの真つ直ぐな気持ちと笑顔に、来るたび元気をもらっています。微力ですが、より多くの利用者さんの気持ちを汲み取ることができたら…と思っています。これからもよろしくお願ひします。

苦情解決相談員
笹川 累利子さん

「業務上別称お話し相手委員」として原則毎月第三水曜日に訪問しています。いつもにこやかに日常の様子やご家族への思いを話してくれる利用者さんと一緒に笑ったりホロリしたり。本来の苦情解決相談員としての力不足は承知しておりますが今まで以上に利用者さんから信じて頼ってもらえる大切さを改めて感じております。



笹川さん、小玉さん、新年度もよろしくお願ひします

採用

平成二十八年三月一日付
* 支援員 石川 喜代美
☆よろしくお願ひします。

退職

平成二十八年三月三十一日付
* 主任支援員 熊谷 七緒子
☆お疲れ様でした。
今までありがとうございました。